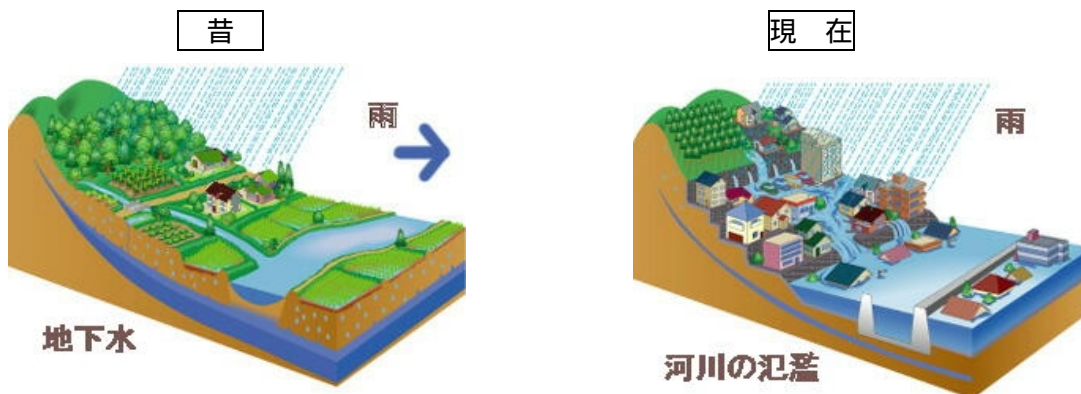


Q.いま、どうして雨水浸透施設が必要なのでしょうか？

A.総合治水対策に役立つからです。



かつては田や畑が多く点在し、雨水の多くは自然の土の中に浸透し、浸透した水は地下水や湧き水となり河川へゆっくり流れていましたが、現在は都市整備により地面はアスファルトやコンクリートに覆われたため短期集中した雨水は一気に下水道や河川に流れ込むため河川の氾濫や水害が発生しやすくなります。



平成20年8月豪雨による水害（毎日新聞記事より）

A.花と緑がいきいきし、自然にやさしくなるからです。

雨を庭に浸透させると保水機能が働いて草花や庭木が喜びます。

また水循環を自然のサイクルに近づけることで渇水対策・河川の水質浄化や効果があり土中の生態系を保全します。

また土壌の乾燥化を防ぎ、地下水を保水することで夏季には気化熱による地表面の冷却を促進し、ヒートアイランド対策になります。



当社工場内でポラリスに植栽したところ発芽しました。

POROUres